

CASE 1

「秋田」の良品を海外へ届ける

「海外で行なった市場調査で確信を得ました」と関口みゆき社長



ミウイズ [Miui's (株式会社アネシア)] | <http://www.miuis-japan.com>

〒017-0042 秋田県大館市字観音堂 539-1 CanNon II 1F / TEL.0186-49-3162 FAX.0186-57-8190
E-mail: info@miuis-japan.com



帯アートや秋田の伝統雑貨などを海外に発信する

ライフワークとしての帯アート制作に取り組む

今回、取材した関口みゆきさんは、大館市で不動産賃貸業等を行う「アネシア」の経営者。

2015年、新事業「Miui's(ミウイズ)」を立ち上げた。「子供たちが独立して自由な時間ができたので、以前からやりたかった仕事に着手しました」と関口さん。Miui'sとは名前の母音をつなげた造語。「自分のライフワークのための場所」という意味を込めている。

Miui'sの事業の柱は、美しい帯の結び目を壁飾りにした「帯アート」の制作販売と、組子細工などの秋田生まれの小物雑貨類販売の二つ。販売先として海外、特に欧米に照準を絞り、調査・商談を開始した。その際、当センターの「あきた企業応援ファンド事業」を利用。「どの地域をターゲットにするかを定める市場調査に役立ちました」と関口さん。その結果、作品の雰囲気や歴史・文化を深く理解してくれるフランスが相応しいという結論を出した。米国とは求められる色や形、作品に対する反応が大きく違った。実際に赴いてみなければ分からなかった貴重なリサーチだったという。

複数回の視察&営業で人脈づくりを

関口さんは「絹文化を持つフランスは和装の文化を理解してくれます。シックな色合いを好むなど感性も合いました」。その後、何度もフランスへ足を運び、商品を扱ってくれるショップの開拓や人脈づくりを重ねている。

もう一つの柱である雑貨類のコンセプトも明確だ。秋田には曲げわっぱや組子細工などの木工芸品がある。木目や細工が美しい価値のある逸品だ。関口さんは、そういう秋田の優れた小物類を、帯アートと一緒に紹介し販売しようとしている。雑貨類は秋田のものだけで種類を揃える意向だ。

「まずは自社商品開発に伴う知的財産権を押さえ、態勢を整えることが肝心です」。関口さんの目標は一つずつ、着実に階段を上っている。



- ▲ 美しい帯の結び目を活かして仕上げた帯アート。帯の柄や結び目の形など、日本の布文化をディスプレイする。
- 秋田杉の組子細工ティースタンド(組み立て式)。
- フランスでの商談の様様。

事業概要 あきた企業応援ファンド事業

地域資源を活用した県内企業や経営革新の承認を受けた県内企業の新品開発等の取組を支援します。

お問い合わせ あきた企業活性化センター／設備・研究推進課 (018-860-5702)まで。

CASE 2

老舗製あん業の新しい挑戦

「和菓子の素材で季節を感じて欲しい」と円城寺キミ子社長



[かどや食品工業株式会社]

〒014-0347 秋田県仙北市角館町小勝田下村 21 / TEL.0187-54-2078 FAX.0187-54-2079
E-mail: kadoya-anko@outlook.jp



昔ながらの職人技で作られた甘納豆を活かして新規顧客の獲得を目指す

伝統の味を守りながら、新商品の開発に挑戦

「かどや食品工業」は、2018年4月に創業70周年を迎える老舗の製あん業者だ。厳選された小豆を原料に、昔ながらの手作業で作られたあんは、伝統の味、おふくろの味として愛され続けてきた。

今も昔と変わらぬ味を守る「かどや食品」。職人たちの作るあんの確かな品質には定評があるものの、縮小傾向にある市場に危機感を抱いていた。強いPRポイントを持つ自社商品の開発と販路拡大の必要性を感じ、昨春、当センターの主催「商品企画セミナー」を受講。9月には通販大手フェリシモ主催の「スター商品誕生オーディション」で見事採用される。開発した商品「大安吉日の甘納豆『ケヲハレ』」は、今では複数企業との取引を獲得(商談中含む)する自信作だ。

オーディションから間もなく、フェリシモでの商品化が決定。12月のカタログ掲載を目指し、急ピッチで準備が進められた。あきた産業デザイン支援センターの助言や専門家派遣事業を利用し、パッケージのデザインやコピーが決められた。

暮らしの中の豊かさへの気付きを甘納豆で表現

ケヲハレとは、「ケの日(日常)をハレの日(特別な日)」という意味。「日々の暮らしを丁寧に積み重ねることで、ハレの日を迎えることができる。だからこそ、一日一日を大切に」という思いが込められている。大安吉日のみに限定生産される甘納豆に、二十四節季にちなんだフレーバーとカラフルなあられが添えられた、見た目にも可愛い甘納豆だ。

フェリシモのカタログ・Webサイトで頒布会に申し込むと、季節ごとの甘納豆が毎月届く。みのりカフェ(S-PAL 仙台)でも販売中。今後の目標は、より多くの人にこの『ケヲハレ』をお届けすること。大安吉日製造の縁起のいい甘納豆なので、お祝いや引き出物などへの利用も期待される。老舗の今後に注目だ。



- ▲ パッケージデザインは Little A 鎌田あかね氏。
- 昔ながらの製法で作られたあん・粒あんと、蜜漬け小豆。厳選された小豆を煮崩れないように煮上げ、砂糖蜜に漬けて仕上げた蜜漬け小豆は、職人の技が光る逸品。産直センター、道の駅などで購入可。
- 甘納豆の製造風景。

事業概要 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ あきた企業活性化センター 知財・デザイン支援課(あきた産業デザイン支援センター) (018-860-5614)まで。